

【企画提案書概要版】

ひらがなネット株式会社

下記の通り提案の概要を記します。

記

① 件名

すぎなみ地域大学における講座の運営管理等に関する業務

② 本受託業務に対する考え方(取り組み姿勢・提案内容の全体像)

- (1) 当事業を 6 年間担当してきた事業者として、培ったノウハウと信頼関係を生かして業務を遂行する。
- (2) 「すぎなみ地域大学」の基本理念「協働の担い手」「協働の輪」「協働社会の基盤」を踏まえて当社の指針を設け、業務推進の指標とする。
- (3) 「担当課・実施団体の思いの実現」「担当課・実施団体と受講生の橋渡し」「受講生への丁寧な対応」「チームワーク」を業務遂行における当社の方針とする。
- (4) 経験と実績を最大限に活かし、効果の最大化を図る。

③ 企画提案書に記載した項目

【講座の運営管理業務について】

「責任」「安全」「コミュニケーション」「講座への関心」「効率性」「伝達・相談」「記録・引き継ぎ」の7つの講座運営の心構えとし、業務を行う。

●講座運営業務

- 1) 準備はリストを用い2名体制で確認。不測の事態に備えた対応準備を行う。
- 2) 当日の運営は、受講生にとって気持ちの良い環境づくり、円滑な進行を心掛ける。
- 3) 名簿等の取り扱いに細心の注意を図り、個人情報の保護に努める。
- 4) 提出物や質問、連絡など、受講生への丁寧な対応を行う。
- 5) 安全管理を徹底し、緊急時にはマニュアルに従い安全第一に対応を行う。

●関係機関等との連絡・調整

- 1) 運営会議、講座会議に出席し、業務の方針・内容の確認を密に行う。
- 2) 地域課、社内での情報伝達の徹底及び緊急時の迅速な連絡を行う。

【広報業務に対する考え方、新規広報手段について】

「わかりやすい広報」「やさしい広報」「イメージの連動」「手元に届く広報」「正確な情報発信」の5つを広報の基本方針として、幅広い世代に伝わる広報を行う。

●既存デザインとなみすけのコラボレーション

- 1) 区民に認知度が高い「なみすけ」をデザインに取り入れ、地域活動への関心を高める。
- 2) 誌面・ポスターのデザインは、各講座をイメージしたイラストを引き続きキービジュアルに使用した上で、より目を引き、読みやすいものとする。
- 3) 新規の制作物として、なみすけのステッカーを提案する。ステッカーは、スマホに貼れるサイズとする。

●当社が制作した既存メディアを活用する

- 1) 当社が 6 年に渡り作成した「地域活動ハンドブック」に登場した 18 名の地域活動の活動者をパネルにし、イベント時や公共スペースで掲示をする。
- 2) パネルを用いた写真展を開催し、開催時期とあわせたトークイベントも実施する。
- 3) 6年間で開拓した募集案内設置拠点(店舗や医院、施設など)への配架を継続する。

【地域活動入門講座についての提案内容、プログラム作成にあたって重視する点】

3つの方針により入門講座を企画・実施する

1) コミュニケーション力を養う講座

「“読む” “理解する”をサポートする、ビジュアルコミュニケーション講座」

「知ろう、使おう！ 点字と手話」

会話を中心としたコミュニケーション法の講座は実施があるが、会話をを用いないコミュニケーション法も地域活動には必要と考え企画した。

2) 実際の活動がイメージできる講座

「まずは体験！ 地域活動」

すでに実施しているテーマで、講座の対象を広げる。

「みどりを増やす活動を知ろう」「食の大切さを広げよう」を提案する。

3) 興味・関心を深める講座

「“好き”と“経験”を活かして、地域活動しよう」をシリーズ展開を想定して企画。

第1回として、「書くこと」をテーマにした講座を実施する。

『杉並』を知ろう」をシリーズ展開を想定して企画。

「荻窪」を巡るコースでは、区の施設や図書館、大田黒公園などをまわり、説明をする。

④ 提案によって期待される効果

- (1) 経験を踏まえた円滑な講座運営と安全管理
- (2) 既存のマニュアル、広報媒体等が活用できることでの業務の効率化、経費削減
- (3) 受講生のニーズ把握による、効果の高い新規講座の実現
- (4) 担当課・実施団体との関係構築があることでの円滑なコミュニケーション
- (5) 当事業に愛着と実績をもつスタッフが継続して担当することでの着眼点・提案

以上